

# テーマ別講師研究会成果報告書

研究会名	現代史研究会	代表者名	里中哲彦
------	--------	------	------

## ■研究成果

### 1. 研究テーマ

「英語表現の実際」と「学校英語の実情」

### 2. 研究に至る課題意識

「英語表現の実際」と「学校英語の実情」にはかなりの乖離が見られる。  
「教師が日々英語に親しんでいる」と「教育のレベルの高低」はほぼイコール関係にあるが、受験生に共通テストを課しているように、教師たちにも TOEIC などの受験を三年に一度くらいのペースで義務づけるべきではないかと思うに至った。

### 3. 研究の進め方

高校教師および予備校講師を招いて、現場の実情および自身と同僚たちの英語レベルについて伺った。とりわけ「読む」「書く」「話す」「聞く」のうち、後者二つが“英語教師”レベルに達していない者が少なからずいるということが判明した。

### 4. 具体的な成果

一年目は、予備校講師が執筆した本の分析をした。  
二年目は、高校および予備校講師を招いて、現場の実情を伺った。  
三年目は、「レベルの低い教師たち」の問題点を指摘、報告した。  
研究会では、『英単語最前線 2500』『英熟語最前線 1515』『英語長文最前線』（以上、研究社）などの本を刊行、現代英語の“最前線”を提示した。